

水利組合と地域団体との連携で農空間保全を推進

樫井地区農空間保全協議会（泉佐野市）

- 樫井地区には二級河川樫井川を水源にした、18haの水田が広がります。また、専業農家が、二毛作として、青ねぎ、キャベツ、玉ねぎ、その他に蒔、トマト、メロンなどを施設栽培しています。
- 多面的機能支払い交付金を活用するため令和5年度から樫井地区農空間保全協議会を設立し地域資源の適切な保全と健全な農空間を維持して育むことができるようになった。

【地区概要】	
取組面積	18.00ha [田18.00ha 畑1ha]
農業用施設	開水路 8.8km、農道 7km、 ため池 1箇所、地下水汲み上げ1か所
主な構成員	水利組合、青年団、消防団
交付金	972冊（R7）

活動開始前の状況や課題

- 高齢化による、担い手の引退に伴い、共同で行う水路の掃除、池の保全作業（土手の草刈）などの重作業の一人当たりの負担が大きくなることが課題。
- 陥没する水路の補修、ガタガタな未舗装の農道整備、など課題。



取組内容

- 水路にたまったゴミや泥の回収、夏場に水路に発生する藻の除去作業、池の土手の草刈を恒例行事としている。



取組の効果

- 水利組合が中心となって、きめ細かな施設の補修や改善により地域の治水や、安全に保全作業できるよう改善されてきている。

